



新生栃木市 10周年記念誌

10th Anniversary of Municipalization
City of Tochigi

We are T-eam

きょうの1歩をいっしょに



Tochigi city

栃木市

For Tochigi city's tomorrow,
let's talk, think, and try all together!!

新生栃木市10周年によせて

平成22年3月から3度の合併を経て1市5町がひとつとなり、新生栃木市が誕生してから10周年を迎えます。

これまで、自治基本条例の制定、地域予算や地域会議の導入など、地域の特徴を生かした魅力あるまちをつくるために、様々な取り組みを行ってまいりました。

今回の10周年にあたり、市民の皆様の行動指針となる「市民憲章」を策定いたしました。市民主体の住みよいまちづくりを推進するための道しるべとなることを期待しております。

栃木市は、自然、歴史、文化に恵まれた魅力的なまちです。これからも、その魅力を十分に生かしながら、安心して暮らせる、心の通った強く優しい元気な栃木市を目指し、しっかりと取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



栃木市長
大川 秀子

“ある”が嬉しい
ゆるやか
栃木市



栃木市議会議長
小堀 良江

新生栃木市10周年を祝して

新生栃木市10周年を迎えましたこと、心よりお祝いを申し上げます。

本市は将来都市像である「自然」「歴史」「文化」が息づく“みんな”が笑顔のあったか栃木市」のまちづくりの実現に向け各種事業を進めております。

市議会においては、この10年の間に、議会基本条例を制定し、開かれた議会を目指し、様々な議会改革を進めてまいりました。

今後も、市民の皆様が、安らぎを感じながら、生き生きと暮らしていけるよう、市民福祉の向上に、議員一同、全力で取り組んでまいり所存でございますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



きらりと輝くとちぎ人 P4

とちぎの光景
100年後に残したい栃木市 P6

栃木市の魅力を映し出す
様々な産業 P8

栃木市総合計画
来て・観て・住んで
ホッとあったか"とちぎ" P10

栃木市年表
～10年のあゆみ～ P12

「T-team ロゴ」～栃木市は1つのチーム～



令和元年東日本台風で大きな被害を受けた栃木市。被災から立ち上がるため、市内各地で高まっている助け合いや団結の気持ちと、この街が生き生きと発展していくように思いを込めたロゴマークです。
栃木市の輝かしい未来のために、みんなで語り合い、共に考え、一緒に挑戦していきましょう！

きらりと輝く とちぎ人

市民一人ひとりがとちぎのまちづくりの主役！
日々、多くの皆さんの汗と笑顔がきらりと光ります。



と田舎(一)かた祭り



栃本どろんこバレー



都賀綱引き大会



高校生夢トーク



麓の街とちぎビジネスプランコンテスト



国体ラグビー部 田村選手



訓練に励む栃本市消防団



令和元年東日本台風で災害ボランティアに駆け付けた皆さん



大平わいわいテラス「かかしとマルシェ」実行委員の皆さん



男社名若舟武蔵大鼓



市の魅力を発見するゆるゆる祭り



とちぎ秋まつり



100の情を女える藤岡地域の皆さん





とちぎの光景

100年後に残したい栃木市

四季折々に様々な表情を見せる栃木市
昨年「100年後に残したい栃木市」をテーマに募集した
「栃木市！大好き！フォト&ムービーコンテスト」の応募作品を中心に
魅力ある栃木市の姿をご紹介します



蔵の街遊覧船「舟が出るぞー」の掛け声に合わせて



ど田舎にしかた祭り



あじさい坂



蔵の街サマーフェスタの一幕



山並みを背景に快走する蒸気機関車

渡良瀬川の河川敷に咲く菜の花と



都賀地域に伝わる伝統の獅子舞



渡良瀬遊水地のヨシ焼き



太平山謙信平のからの眺め



太平山の紅葉



アニメ映画の舞台となったJR岩舟駅周辺の雪景色



自然・歴史・人・環境……

栃木市の魅力を映し出す

様々な産業

地域の豊かな特色を生かした
活力ある発展の姿

古くは舟運や街道、今は東西に
延びる鉄道や道路網、そして昔も
今も変わらない、豊かな自然。

この街では、昔も今も、豊かな
環境に裏打ちされた経済活動が、
人々の手によって活き活きと行わ
れています。



いちごの収穫

Agriculture

農業

市の農家戸数は県内第1位！豊富な水と日照量、そして良質な土壌を持つ栃木市は農業立市でもあります。豊かな水田をはじめ、産出額全国1位を誇る二条大麦、いちご・ぶどうやナシなどの果物、トマトやニラなどの野菜、「とちぎ和牛」などの畜産など、彩り豊かな農業生産が行われています。



新規就農者圃場での収穫*



とちぎ和牛*

*写真出典：栃木市農業ビジョン



栃木市復興マルシェ

Commerce & Tourism

商業・観光

江戸時代には街道交通や舟運による商業都市として賑わった栃木。現代に残る江戸の情緒や豊かな自然が、多くの観光客を惹きつけています。また近年は、若者を中心とした創業が活発に行われているほか、農業をはじめ様々な地場産業を生かした6次産業化への試みが盛んとなっています。



渡良瀬遊水地ガイドクラブ



とちぎ江戸料理



千塚産業団地

Industry & Firm Location

工業・企業誘致

東北自動車道と北関東自動車道の結節点という恵まれた立地を持つ栃木市内では、電気機械、輸送機械、プラスチック製品、生産機械や食料品など、多くの企業が活動しています。また、優れた交通環境を生かした企業誘致にも力を入れており、平成29年に分譲を開始した千塚産業団地のほか、さらなる誘致の促進を図っています。



中根産業団地



栃木 IC

健康で生きがいを持てる
まちづくり

4

誰もが健やかに住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療体制の強化や市民の日常的な健康づくり活動の支援を行うとともに、高齢者や障がい者の生活を見守る環境の形成、子育てを応援する環境の充実など、地域で支え合うことのできるまちづくりを進めます。

- 1 医療体制の充実
- 2 総合的な福祉の構築
- 3 健康づくりの充実



健やかに人を育み
学び続けられるまちづくり

市民一人ひとりが学び続け、あらゆる分野での活躍が図られるよう、地域の豊かな歴史・伝統・文化を守り活かしながら、心身ともに健やかな人材の育成、生涯を通して学び社会に貢献できる環境の整備等により、人材と文化を育めるまちづくりを進めます。

- 1 学校教育の充実
- 2 生涯学習の充実
- 3 スポーツの推進
- 4 文化の振興



いきいきと働き
賑わいのあるまちづくり

6

地域資源や立地特性を活かした産業の振興、新たな産業基盤の整備による雇用の創出、社会経済動向を踏まえた企業の誘致、魅力ある観光の推進等により、地域経済が元気になり、いきいきと働けるまちづくりを進めます。

- 1 農林業の振興
- 2 商工業の振興
- 3 観光レクリエーションの振興
- 4 雇用の創出
- 5 多様な地域間交流の充実



共に考え
共に築き上げるまちづくり

適正な行財政運営の推進、地域の特性に応じた市民によるまちづくり、市民活動や地域活動を支える市民団体・コミュニティ組織への支援、市民一人ひとりがお互いを認め合う環境の形成等により、市民と行政が共に考え共に築いていくまちづくりを進めます。

- 1 市民自治の推進
- 2 シティプロモーションの推進
- 3 基本的人権の尊重
- 4 行財政運営の充実



誰もが暮らしやすい栃木市を目指してまちづくりを行うためには、指針となる設計図が必要です。

栃木市では、栃木市総合計画において、市民と行政が一体となってまちづくりに取り組んでいくための目標として「自然」「歴史」「文化」が息づき「みんな」が笑顔のあったか栃木市を基本構想の「将来都市像」としています。

また、将来像の実現を効果的・効率的に進めていくため、栃木市総合計画の骨格となるまちづくりの体系を以下にご紹介する「まちづくりの7つの基本方針」として整理し、まちづくりを進めています。



1 かけがえのない
自然に優しいまちづくり

環境と共生した循環型社会の構築を目指し、豊かな自然環境をかけがえのない財産として次世代に引き継ぐとともに、自然エネルギーへの取り組みや環境に負荷をかけない持続可能なまちづくりを進めます。

- 1 豊かな自然環境の保全
- 2 安全で良好な水資源の確保



心地よく暮らせるまちづくり

2

市民生活の舞台・装置となる、良質な住環境の形成、道路等の生活基盤の整備、商業環境の形成、企業活動を支える産業基盤の整備、情報通信環境の整備、公共交通機関の充実、誇りや愛着の持てる美しい街並みの形成等により、誰もが心地よく、安らぎを感じながら、満足して住み続けることのできるまちづくりを進めます。

- 1 暮らしやすい都市の創出
- 2 生活環境の充実



3 安全安心で
快適に暮らせるまちづくり

誰もが快適に安心して暮らせるよう、災害に強い都市環境の形成、あらゆる場面を想定した防犯・防災体制の強化、生活の根幹に関わる様々な不安の解消に向けた取り組みの推進等により、市民の生命・財産を守ることのできるまちづくりを進めます。

- 1 危機管理体制の構築
- 2 安全安心な暮らしの確保



栃木市年表 10年のあゆみ

平成22年に誕生した栃木市。10年の間に、様々な出来事を経験してきました。時代は平成から令和へと移り変わり、新たな未来へとあゆみを進めていきます。



④ 渡良瀬遊水地は平成24年にラムサール条約登録湿地となり、関係市町に認定証が授与されました。
 ⑤ 東日本大震災および東電原発事故の影響により中止されていた渡良瀬遊水地のヨシ焼きは、平成25年3月より再開。
 ⑥ 平成26年2月に市役所本庁舎が現在の万町に移転。3月に完成記念式典が盛大に挙行されました。
 ⑦ 県内初となるコミュニティFM「FMくらら857」が開局。開局前には「栃木市災害FM」として、関東東北豪雨災害の支援情報を伝えました。

① 市役所本庁舎（当時）にて「新生 栃木市誕生」の看板が序幕されました。
 ② 市が誕生して初めての栃木市議会第1回定例会。
 ③ 「歌麿道中」で恒例となった歌麿まつり。第1回は平成23年に開催されました。

2015 平成27年	2014 平成26年	2013 平成25年	2012 平成24年	2011 平成23年	2010 平成22年
<ul style="list-style-type: none"> 11月 ○市制施行5周年記念式典 9月 ○市の木・花・鳥・歌の制定 8月 ○「深川の雪」高精度複製完成、「吉原の花」「平川の月」の高精度複製完成と共に公開 8月 ○男女共同参画都市宣言 4月 ○渡良瀬遊水地ガイドクラブ発足 3月 ○新たな地域自治制度の開始 3月 ○まちの駅とちぎコエド市場開設 3月 ○高松生議会初開催 3月 ○関東・東北豪雨災害により大きな被害を受けた家中小学校屋内運動場完成 3月 ○コミュニティFM「FMくらら857」開局 	<ul style="list-style-type: none"> 11月 ○栃木市・岩舟町合併記念式典 10月 ○とちぎ歌麿館開館 8月 ○大平学校給食センター竣工 5月 ○とちぎ歌麿館開館 4月 ○栃木市・岩舟町合併記念式典 4月 ○栃木市・岩舟町合併記念式典 3月 ○栃木市・大平町、藤岡町、都賀町が新設合併・地域自治体設置 3月 ○栃木中央小学校開校 2月 ○初代市長に鈴木俊美氏が就任 2月 ○栃木市消防団結団式 2月 ○栃木市議会第1回定例会 2月 ○栃木市・西方町合併協議会設置 2月 ○大平町・藤岡町・都賀町地域協議会発足 2月 ○第1回栃木市・西方町合併協議会 2月 ○栃木市合併記念式典 2月 ○栃木市誕生後初のとちぎ秋まつり 2月 ○喜多川歌麿肉筆画「鍾馗図」「三福神の相撲図」特別公開 2月 ○新生栃木市誕生記念市民ミュージカル「心に太陽を持って」上演 	<ul style="list-style-type: none"> 11月 ○新庁舎開庁 11月 ○大雪により市内各地で農業施設等に大きな被害 8月 ○東武宇都宮百貨店栃木店ブランドオープン 5月 ○新庁舎完成記念式典 4月 ○栃木市自治会連合会設立総会 4月 ○第1回栃木市スポーツフェスティバル 3月 ○第1回栃木市ウォーキング大会 3月 ○新生栃木市誕生記念「NHKのとちぎ」 2月 ○合戦場小学校・栃木西中学校 屋内運動場完成/栃木中央小学校新校舎完成 2月 ○大宮北小学校特別教室棟完成 2月 ○非核平和都市宣言/環境都市宣言 2月 ○栃木市自治基本条例制定 2月 ○渡良瀬遊水地がラムサール条約登録地登録 2月 ○嘉石衛門町伝建地区が国の重伝建地区に選定 2月 ○藤岡保健福祉センター開館 2月 ○西方中学校校舎完成 	<ul style="list-style-type: none"> 11月 ○都賀中学校校舎完成 10月 ○とちぎ花フェスタ2011in栃木市開幕 10月 ○東日本大震災・東電原発事故による被害 10月 ○宮城県石巻市へ緊急救援物資搬送 10月 ○栃木市・岩舟町合併協議会設置 10月 ○第1回栃木市・岩舟町合併協議会 10月 ○栃木市・西方町合併協議会 10月 ○栃木市消防本部・栃木市消防署発足 10月 ○ふれあいバス運行開始 10月 ○栃木市・西方町合併記念式典 10月 ○西方町地域協議会発足 10月 ○第1回歌麿まつり 	<ul style="list-style-type: none"> 3月 ○大平南小学校新校舎竣工 3月 ○移住体験施設「蔵の街やどかりの家」開設 3月 ○栃木市地域支え合い活動推進条例制定 3月 ○藤岡はーとらんど保育園開園 3月 ○「とちぎ江戸料理」の提供開始 3月 ○とちぎ×デジタルセンターしもつが開院 3月 ○栃木市成年後見サポートセンター開設 3月 ○関東とまんがサミット会議加入 3月 ○歌麿夢芝居「恋しや恋し母子草」初演 3月 ○とちぎかき育ちキャラグランプリ2016全国第4位 3月 ○ゆるキャラの「ゆるキャラ for チルドレン」 3月 ○「住みたい田舎」ベストランキング若者世代・子育て世代部門で全国1位 3月 ○街なか連携インキュベーション事業「P-10」オープン 3月 ○「高校生夢トーク」を初開催 	

2020 令和2年	2019 平成31年 令和元年	2018 平成30年	2017 平成29年	2016 平成28年
<ul style="list-style-type: none"> 10月 ○栃木市市民憲章制定 6月 ○栃木市市民交流センター（栃木市市民交流センター）が開局 5月 ○栃木市北部健康福祉センター（愛称 ゆつたり）開館 4月 ○キョクトウとちぎ蔵の街楽習館（栃木市市民交流センター）開館 3月 ○栃木市・岩舟町合併記念式典 3月 ○新元号「令和」記念式典 2月 ○佐野市と三ヶ山連携構想の推進に合意 2月 ○栃木市市民スポーツ応援団 Strawberry Beats 発足 2月 ○令和元年東日本台風（台風19号）による被災・災害対策本部設置 2月 ○（仮称）文化芸術館起工 2月 ○蔵の街「ナジマリ」事業「TOCHIGI TODAY'S MARKET」を開催 2月 ○栃木駅北口「シビックコア」重点整備地区において（仮称）シビックセンターが起工 	<ul style="list-style-type: none"> 12月 ○とちぎ蔵の街観光館内にテレワーク支援「ワーキングスペース」を開設 12月 ○（仮称）文学館改修工事起工 12月 ○栃木市歴史の風致維持向上計画を国が認定 12月 ○栃木市のふれあいバスと小山町の渡良瀬ラインが相互乗り入れ開始 12月 ○新元号「令和」記念式典 12月 ○佐野市と三ヶ山連携構想の推進に合意 12月 ○栃木市市民スポーツ応援団 Strawberry Beats 発足 12月 ○令和元年東日本台風（台風19号）による被災・災害対策本部設置 12月 ○（仮称）文化芸術館起工 12月 ○蔵の街「ナジマリ」事業「TOCHIGI TODAY'S MARKET」を開催 12月 ○栃木駅北口「シビックコア」重点整備地区において（仮称）シビックセンターが起工 	<ul style="list-style-type: none"> 11月 ○移住体験施設「TJUテラス蔵人館」開設 11月 ○栃木市中小企業小規模企業振興ビジョン策定 11月 ○國學院大学栃木高等専門学校が選抜高校野球大会に出場 11月 ○渡良瀬遊水地「ハートランド」域開設 11月 ○くらのまち保育園開園 11月 ○「ステイネーション」キャンペーン本物の出会い「栃木」を全県で開催 11月 ○第2代市長に大川秀子氏が就任 11月 ○栃木市農商工包括連携協定を締結 11月 ○栃木市子ども未来基金を創設 11月 ○北海道滝川市と交流推進協議書を締結 11月 ○ハンガリー近代五種ナショナルチームが市内でトレーニングキャンプを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 11月 ○栃木市農業ビジョン策定 11月 ○Tochigi City Promotion Design 策定 11月 ○栃木駅構内「吾一からへり時計」お披露目 11月 ○市役所4階に「栃木市歴史館」を整備 11月 ○「すこやか子育て相談室」を開設 11月 ○FM Varsity 577で高校生番組「Tochigi high school radio!!」開始 11月 ○千歳産業団地の本格分譲を開始 11月 ○フランス・パリで開催の世界最大規模の日本文化の展覧会「Japan Expo」に初出展 11月 ○あったかおとぎ健康都市宣言 11月 ○栃木市創業支援中村田美子基金活用事業「蔵の街」を初開催 	<ul style="list-style-type: none"> 12月 ○大平南小学校新校舎竣工 12月 ○移住体験施設「蔵の街やどかりの家」開設 12月 ○栃木市地域支え合い活動推進条例制定 12月 ○藤岡はーとらんど保育園開園 12月 ○「とちぎ江戸料理」の提供開始 12月 ○とちぎ×デジタルセンターしもつが開院 12月 ○栃木市成年後見サポートセンター開設 12月 ○関東とまんがサミット会議加入 12月 ○歌麿夢芝居「恋しや恋し母子草」初演 12月 ○とちぎかき育ちキャラグランプリ2016全国第4位 12月 ○ゆるキャラの「ゆるキャラ for チルドレン」 12月 ○「住みたい田舎」ベストランキング若者世代・子育て世代部門で全国1位 12月 ○街なか連携インキュベーション事業「P-10」オープン 12月 ○「高校生夢トーク」を初開催

① 栃木市くらまのまち保育園は、旧いりふね・旧そのべの両保育園を統合し、平成30年4月に開園しました。
 ② リニューアルを行って間もないとちぎ山車会館前広場を会場に山車が並び、新元号の「令和」を祝いました。
 ③ 最大の被害をもたらした令和元年東日本台風。膨大な災害ごみの処理に、自衛隊をはじめ多くの皆さんの協力をいただきました。
 ④ 東日本台風の影響により開館が遅れていたキョクトウとちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）は、令和2年6月に開館となりました。

⑤ 市民が参加して作り上げた歌麿夢芝居「恋しや恋し母子草」は、その後も公演が重ねられています。
 ⑥ とちぎは、ゆるキャラグランプリ2016において「ゆるキャラ for チルドレン」グランプリを獲得。
 ⑦ 前年に行われた「高校生夢トーク」参加者の発案により生まれた高校生番組「Tochigi high school radio!!」。代を重ねながら、FMくらら857の定番として続いています。



栃木市プロフィール

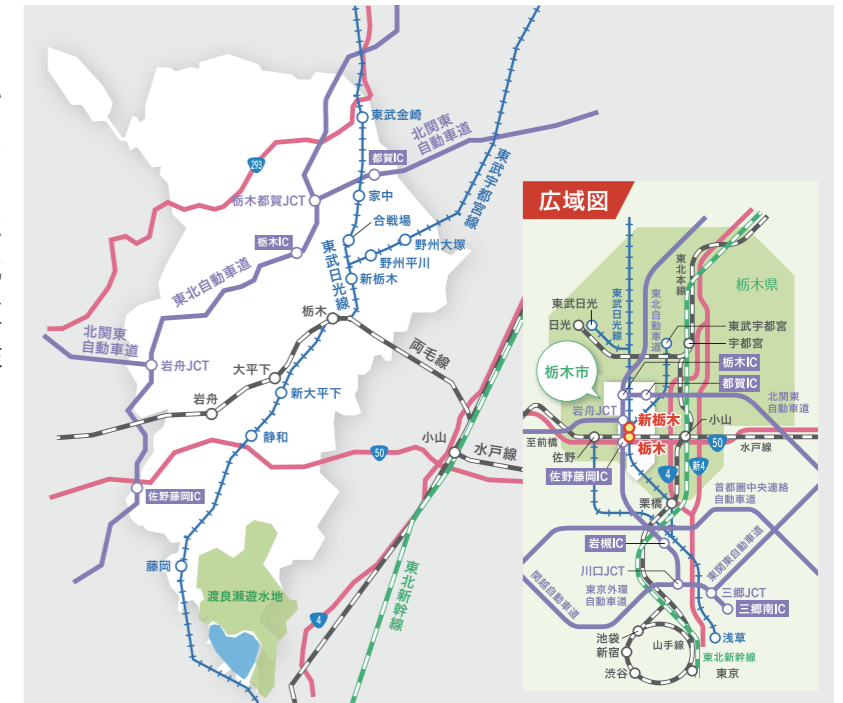
地勢・位置

栃木市は、栃木県の南部に位置し、東京から鉄道でも、高速道路でも約1時間の距離にあります。

鉄道は、東武日光線、東武宇都宮線、JR両毛線の3路線12駅、また道路網は、南北の東北縦貫自動車道と東西の北関東自動車道が栃木都賀JCT・岩舟JCTで交わり、佐野藤岡IC・栃木IC・都賀ICを有するなど、物流の効率化や地域経済の発展に貢献する交通の要の地域であると言えます。

●市役所の位置
栃木市万町9番25号
北緯 36° 22' 57"
東経 139° 44' 03"
海拔 43m

●市の面積
331.50km²
南北 33.1km
東西 22.3km



人口・世帯

人口 158,892人 世帯数 65,976世帯
男 79,587人
女 79,305人 (令和2年8月末現在)

栃木市アラカルト

いちごの作付面積
県内2位
全国5位
(2015年農林業センサス)

渡良瀬遊水地の面積のうち
栃木市分は
71.2%

県内唯一の
重要伝統的建造物群
保存地区
(嘉右衛門町伝建地区)

農業従事者数
県内1位
(2015年農林業センサス)

栃木市の人口は
県内3位
栃木市の面積は
県内8位

鉄道の駅数
3路線12駅
高速道路の施設数
2JCT 3IC

岩舟駅は
「訪れてみたい日本の
アニメの聖地88」
のひとつ
(訪れてみたい日本のアニメ聖地88 2020年版)

二条大麦産出額
全国1位
(平成27年度 市町村別農業産出額推計)

市の木 トチノキ



響きが「トチギ」と似ており、歩道や学校や公園などにもよく植栽される、市民にとって昔からなじみのある木です。

市の花 アジサイ



小さな花が集まっていることから団結や結びつきをイメージできる花です。太平山のおじさい坂や大中寺など、6月の市内を彩ります。

市の鳥 カモ



市内全域の池や川に生息している身近な鳥で、その仲良さうい様に親しみを感じます。渡良瀬遊水地には多くのカモが飛来します。

栃木市民の歌

明日への希望

作詞 麻衣 作曲 久石譲

緑が芽生える声 こどりのさえずり聞こえ来る
この地に生まれてきて 私は今ここに
湧き出る尽きせぬ水は 誇らしく輝き
きよらかな心守り 明日への希望をうたう

変わらぬ思い寄せる 神々宿る太平洋
この地に育てられて 私は今ここに
恵みの雨空仰ぎ あじさいがはなやぐ
やさしい心守り 未来の光をつくる

穏やかにながれゆく 歴史を運ぶ巴波川
この地と共に歩み 私は今ここに
渡良瀬の遊水地は 四方に命満ちて
ゆたかな心守り
未来をききよく栃木市
未来をききよく栃木市

平成27年11月13日制定



栃木市マスコットキャラクター とち介

平成26年4月5日に、栃木市の蔵からあらわれた、蔵の妖精。蔵のずきんにマントがお気に入り。
市内外のみんなの応援により、「ゆるキャラグランプリ2016」で全国第4位、「ゆるキャラ for チルドレン」グランプリを獲得。公式ソングは、栃木市ふるさと大使 MAGIC OF LIFE の「大福」。
今日もゆる〜く活動中。



市章

平成22年10月2日制定。
緑色の4本のラインは「自然」、「歴史」、「地域」、「人」を表し、青色はこれらがひとつとなった大河の流れを、その先にあるオレンジ色の円は輝かしい未来と人々の情熱を表しています。いままでの歴史を受け継ぎ、明るい未来へと続くイメージを栃木市の「と」の文字をモチーフに表現しています。

友好親善都市



滝川市 (北海道)

滝川市は、石狩川と空知川に挟まれた平野部に広がっており、北海道内陸部の中核として発展しています。
栃木市とは國學院短期大学の誘致をきっかけに交流が始まり、1982年に友好親善都市盟約が締結されました。

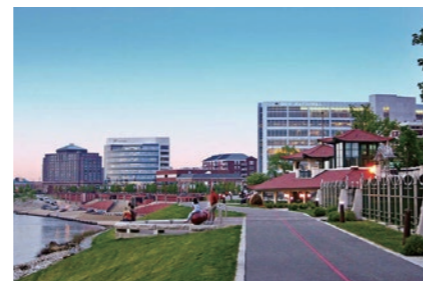
友好都市



金華市 (中国)

東シナ海に面している浙江省の中心部に位置し、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた都市です。栃木県と浙江省の交流事業である浙江省文化芸術団の栃木市公演をきっかけに交流が始まり、1994年に友好都市関係を締結しました。

姉妹都市



エバンズビル市 (アメリカ合衆国)

インディアナ州の南西部に位置し、緑の多い自然豊かな都市であるとともに、州南部の経済の中心ともいえる近代的な都市です。栃木県とインディアナ州との交流をきっかけに、1999年に姉妹都市提携を締結しました。

栃木市民憲章

栃木市は、豊かな自然に恵まれ、栃木県名発祥の地として、歴史と文化が息づくまちです。

わたしたちは、この美しいふるさとに誇りと愛着をもち、誰もが住みよい平和で豊かな未来をつくるため、この憲章を定め行動します。

- 1 笑顔であいさつを交わし、相手を思いやります
- 1 自然と伝統を大切にし、美しい環境をつくれます
- 1 交通安全や防災を心がけ、互いに助け合います
- 1 健やかなからだをつくり、生きがいをもって働きます
- 1 広い視野で多くを学び、まちづくりに参加します

令和2年10月10日制定

新生栃木市 10周年記念誌

発行年月 2020年(令和2年)10月

発行 栃木県栃木市

〒328-8686 栃木県栃木市万町9番25号

Tel:0282-22-3535(代表) Fax:0282-21-2673

<https://www.city.tochigi.lg.jp>

編集・制作 栃木市総合政策部シティプロモーション課